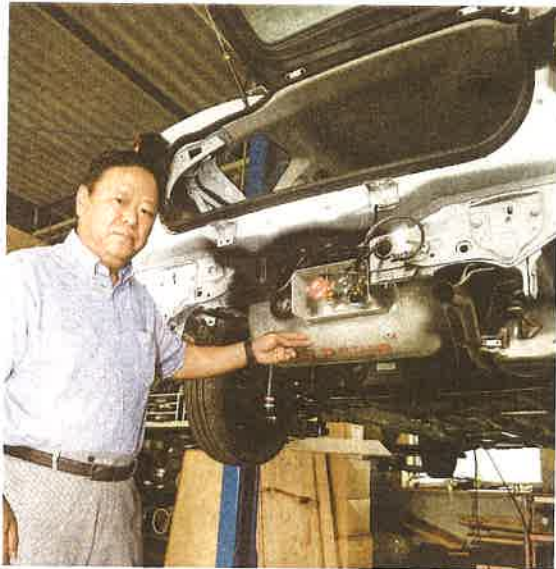


## 次世代自動車 地場企業に商機

### ガソリンとLPGの併用車販売

エフ・ケイメカニック(大分市)、順調に拡大

次世代のクリーンエネルギー車といえ  
ば、モーターで動く電気自動車や燃料電池



バイフューエル車(写真)を手掛けるエフ・ケイメカニックの古川克己社長。ニッチ分野で国内市場に食い込んでいる

車に注目が集まるが、エンジン車を含め対象は幅広い。ニッチな分野で需要を見だし、国内市場に食い込む県内企業もある。

自動車整備・販売のエフ・ケイメカニック(大分市)は、ガソリンと液化石油ガス(LPG)を併用する「バイフューエル車」を販売する。既存のガソリン車に、海外のメーカーから取り寄せた電子制御の専用キットを取り付けた改造車で、通常はLPGで走る。

LPGはガソリンに比べて二酸化炭素や窒素酸化物の排出が少ない。燃費も劣らない上、コストはガソリンの半分程度という。キットの取り付けに費用がかかるため、一般車でニーズはほとんどないものの、走行距離が長くなるほどランニングコストが下がることから、業務用車を多数抱えるタクシー会社や自動車学校、燃料を供給しているガス会社などから注文を受ける。

販売を始めたのは2008年。LPG車が一般的なタクシー業界でも、ジャンボタクシ

ーとして使う車両はほぼガソリン車しかない。潜在需要を見込んでいたが、当時はバイフューエル車の認知度が低く、3年ほど全く売れない状態が続いたという。社員と3人で全国各地のタクシー会社などに飛び込みで地道に営業。長崎県のタクシー会社2社から受注して以降は取引先を広げている。

現在はキット単体も含めて年間に約400台を販売する。国内に同業者が数社現れたが、古川克己社長(64)は「環境、燃費の両面で優れるバイフューエル車の需要はまだまだ掘り起こせる」と前向き。販売数を年間千台まで伸ばす目標を掲げている。

#### ◆企業プロフィール

- ・会社名 エフ・ケイメカニック
- ・代表者 古川克己 代表取締役社長
- ・設立 1994年
- ・従業員 15人
- ・資本金 1千万円
- ・所在地 大分市三佐

### 環境に優しく、国も後押し

普及目標、30年までに5~7割台に

環境に優しいクリーンエネルギー自動車は従来のエンジン車を含めていずれも排ガスが少なく、燃費性能が優れているなどの強みがあり、国も普及を後押ししている。

環境省や経済産業省がクリーンエネルギー自動車について

電池車、電気自動車など6種類。市場の普及状況を見ると、車両価格が比較的安く、多くのメーカーが参入しているハイブリッド車が大半を占めるが、他もおおむね増加傾向にある。

自動車に対する環境規制は海

する方針を示した。中国もガソリン車の生産に対する規制を導入している。

次世代車への国際的な潮流も背景に、国は具体的な普及目標を掲げている。新車販売台数に

占める割合を、現状の約4割から30年までに5~7割台に引き上げる。消費者向けの補助金を設け、購入しやすい環境整備を進めている。



日本の次世代自動車の普及目標と現状